

商店建築

SHOTENKENCHIKU MONTHLY MAGAZINE OF STORE DESIGN/INTERIOR/ARCHITECTURE 2017 Vol.62 No.08

New Shop & Environment

THE RIGOLETTO Shibuya

ザ・リゴレット 渋谷

pas de calais Marunouchi

パドカレ 丸の内店

Special Feature

Shop Design for INBOUND TOURIST

“インバウンド対応型”商空間デザイン

Feature Article

INTERNATIONAL CUISINE RESTAURANT

各国料理レストラン

BAKERY & FOOD STORE

ベーカリー&フードストア

Special Focus

ブランドイメージをつくり出すオリジナルワインセラー
インバウンド需要に応える空間デザインのアプローチ





食品を引き立てるなめらかな曲線とツヤ

しいの 茶屋本陣 畔屋店

Food Shop SHIINO HOTORYI SHOP, Kanagawa
Designer Kan Izue / KAN IZUE Architect&Associates

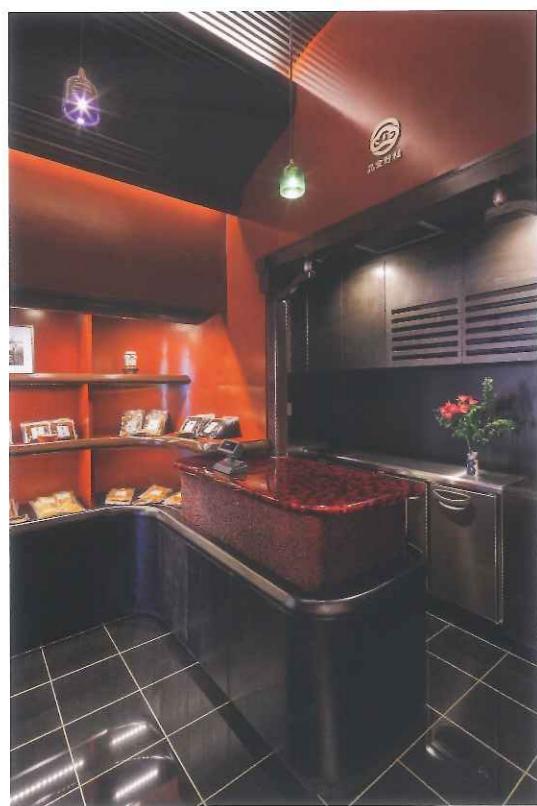
設計／出江寛建築事務所 出江 寛
施工／樹工務店

撮影 小川重雄

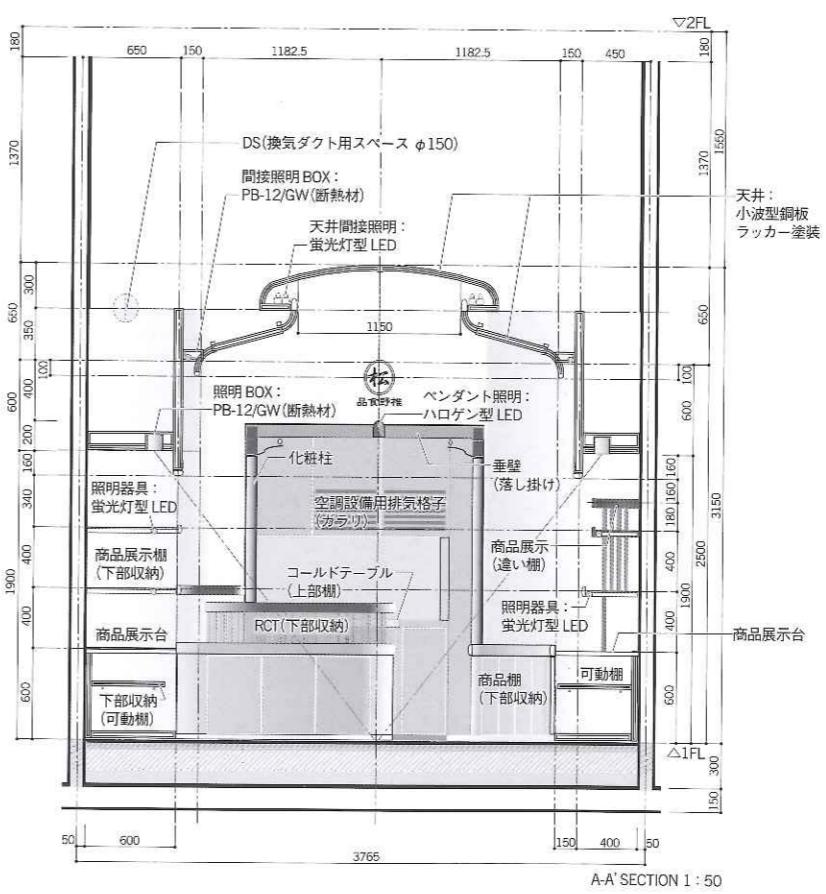
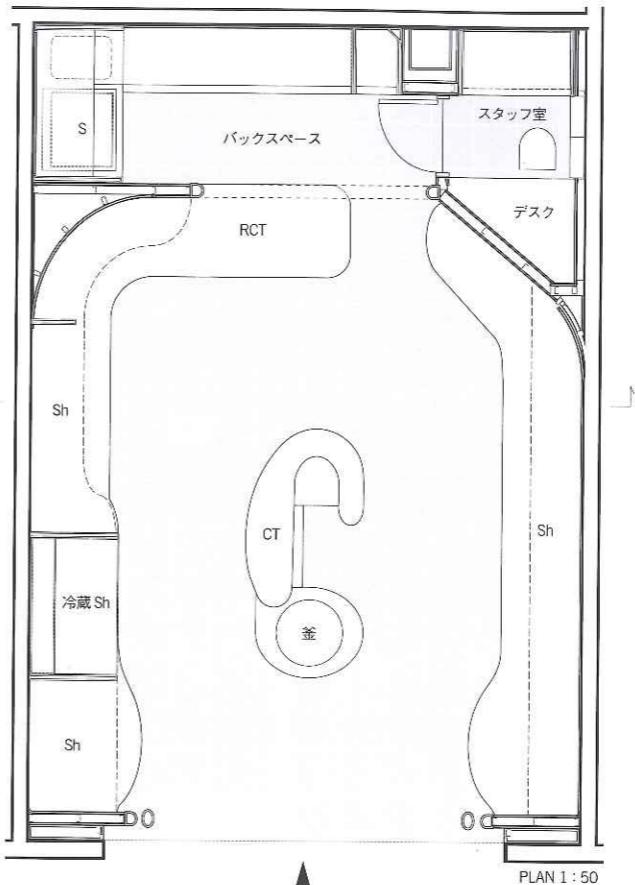
店内を見通す。曲線形状とツヤのある仕上げを取り入れ、天井や展示棚の間接光で陰影を出している。中央にはかまどのオブジェを設けた



曲線を描く中央のカウンターでは、白飯と共に商品の試食や案内が行われる



左／レジカウンターの天板はステンドガラス製。ペンダントライトは吹きガラス製のオリジナル
右／壁面のディスプレイ用違い棚の小口は、奈良ガラス工房が制作を手掛けたステンドガラス製



「珍しきが花なり」と能楽師の世阿弥が言っている。正面入り口に大きな極彩色の「かまど」がどしんと居座っている。店舗には珍しさと色気が必要である。「かまど」に「お」を付ければ「おかま」となり、突然色っぽくなる。

「氷ばかり艶なるなし」と心敬僧都(1406～1475)が言っている。氷が艶っぽいなど世界中で誰も思う者はいないだろう。これは「冷艶美」を意味し、神の色気を示すのである。氷に近いものにガラスがある。ガラスが神の艶気を漂わせているのが「教会」のステンドガラスである。ここでは日本的な違い棚のガラスの赤い小口やコードペンダント、カウンターの天板などに、心敬僧都の示す「氷ばかり艶なるなし」を表現したいと思った。

空間全体として大切なポリシーは「沈黙」である。沈黙について、ドイツの哲学者マックス・ピカートが、「人間の本質は言葉であり、神の本質は沈黙である。キリストは沈黙の人であった」とし、「沈黙は何の役にも立たないが、唯一人間の心を癒やすものである」としている。この沈黙を表現した文学者、谷崎潤一郎の「陰翳礼讃」の美学がある。陰翳のある空間にこそ人は癒やされるのである。

和辻哲郎が「風土」論の中で、「文明」と「文化」について、「文明」とは採り立ての野菜にサラダ油を掛けてすぐ食べることから、早い、明るい、新鮮であるとしている。「文化」は漬物桶に野菜を入れ、数日間漬けてから食するので、遅い、暗いが、しかしコクのある味が出る。このコクのことを「文化」と言っている。コクとは隠し味のことであり、人間の深い心を意味する。明治27年創業の「しいの食品」は、漬物のように、コクのある文化的な食品会社といえる。(出江 寛)

「しいの 茶屋本陣 畦屋店」data

所在地：神奈川県足柄下郡箱根町箱根161-1
工事種別：内装のみ 新築
床面積：20.71 m²
工期：2015年12月20日～2016年1月20日
総工費：1200万円
施工協力：照明器具／奈良ガラス工房 ヤマギワ サイ
ン／アットワーク

営業内容

開店：2016年1月23日
営業時間：午前9時30分～午後5時15分(季節により変動)
定休日：なし 電話：(0460) 83-8441
経営者：株式会社 稲野雅之 従業員数：2人
主な仕上商品と単価：箱根七福漬800 まぐろ酒盗500
漬物類300～

主な仕上げ材料

床：モルタル下地御影石30角t20磨き仕上げ敷き 目地／真鍮
壁：PBT9.5+無機繊維強化セメントt9下地寒冷紗の上ラッカー塗装3回吹き付け
天井：波型鋼板寒冷紗の上ウレタン塗装5回吹き付け 一部
棚板、什器：寒冷紗の上ウレタン塗装5回吹き付け
照明器具：ペンダント照明／シェード・ステンドガラス